

## 「北海道新幹線開業後の二次交通動態調査」報告書〔概要版〕

北海道新幹線開業に向けた道内の交通ネットワークの整備に資するため、北海道新幹線建設促進期成会（事務局：北海道商工会議所連合会）の協力を得て、北海道新幹線開業推進会議の「交通戦略部会」において本調査を実施した。

### アンケート調査（インターネット調査）

北海道新幹線開業後における新函館北斗駅からの二次交通の利用意向等について把握するため、過去3年間に函館駅や函館空港、函館港を利用して本州と北海道を往来したことがある方を対象としたインターネット調査を平成26年9月に実施し、2千件の回答に基づく調査結果の概要を取りまとめた。

#### 1 新函館北斗駅利用者における道内居住者と道外居住者の割合の推計

アンケート調査の回答を基に、過去の往来回数や北海道新幹線の利用意向などを分析し、北海道新幹線開業後の新函館北斗駅における利用者の道内居住者と道外居住者の割合を推計した。

道内居住者 39.8%（約4割） : 道外居住者 60.2%（約6割）

#### 2 道外居住者の道内訪問意向先の割合

##### （1）道内エリア別訪問意向

n=1,741件

	道南	道央	道東	道北
最終目的地	21.8% (379件)	37.4% (652件)	11.6% (202件)	17.6% (307件)
経由地	48.5% (845件)	48.1% (838件)	13.8% (240件)	18.8% (327件)
最終目的地 + 経由地	59.8% (1,041件)	69.1% (1,203件)	22.2% (386件)	33.1% (577件)

最終目的地には、他に東北エリアなどの回答があるため、合計が100%とはならない。  
同一エリア内で経由地と最終目的地を重複回答している場合があるため、「経由地」と「最終目的地」の合計が「経由地及び最終目的地」の値と一致しない。

##### （2）道内地域別訪問意向

##### 最終目的地〔上位5地域〕

n=1,741件

札幌	函館	旭川・富良野・美瑛	知床・オホーツク	稚内・利尻・礼文
29.3% (510件)	18.7% (325件)	11.0% (192件)	8.5% (148件)	6.6% (115件)

### 経路地〔上位5地域〕

(複数回答) n=1,741件

函館	札幌	小樽・倶知安・ニセコ	旭川・富良野・美瑛	支笏湖・洞爺湖・登別
41.5% (722件)	28.6% (498件)	25.5% (444件)	16.4% (286件)	15.8% (275件)

### 最終目的地及び経路地〔上位5地域〕

(複数回答) n=1,741件

札幌	函館	小樽・倶知安・ニセコ	旭川・富良野・美瑛	支笏湖・洞爺湖・登別
57.9% (1,008件)	55.1% (959件)	30.7% (535件)	27.5% (478件)	18.7% (326件)

## 3 道外居住者の移動手段

### (1) 新函館北斗駅から函館への主な移動手段

n=1,741件

JR在来線	レンタカー	観光バス	路線バス	タクシー
49.3% (858件)	31.0% (540件)	6.3% (110件)	6.3% (109件)	5.8% (101件)

### (2) 新函館北斗駅から道央方面への主な移動手段

n=1,741件

JR在来線	レンタカー	観光バス	路線バス	タクシー
45.3% (788件)	39.6% (689件)	7.2% (125件)	3.3% (57件)	2.7% (47件)

## 4 道外居住者の北海道新幹線の主な利用目的

(複数回答) n=1,741件

観光、レジャー	ビジネス	行楽・イベント	帰省	スポーツ・文化活動
94.1% (1,638件)	14.6% (255件)	7.2% (126件)	4.5% (78件)	2.9% (50件)

## 5 道外居住者のレンタカー利用における高速道路の利用意向

アンケート調査における道外居住者の回答を基に、レンタカーを利用して移動するとした方について、最終目的地のエリアごとにレンタカーの利用割合及びその中の高速道路利用意向割合を取りまとめた。

最終目的地		レンタカーを利用して移動	高速道路利用意向
道南	21.8% (379件)	31.4% (119件)	72.3% (86件)
道央	37.4% (652件)	39.3% (256件)	73.8% (189件)
道東	11.6% (202件)	44.6% (90件)	61.1% (55件)
道北	17.6% (307件)	46.9% (144件)	68.8% (99件)
道外居住者全体	100.0% (1,741件)	39.6% (689件)	71.3% (491件)

## 6 道外居住者のエリアごとの状況

アンケート調査における道外居住者の回答を基に、エリアごとに状況を取りまとめた。

### (1) 道南エリア

#### 訪問意向

n=1,741件

	道南	松前・江差・奥尻	木古内 (木古内駅)	北斗市 (新函館北斗駅)	函館	大沼
最終目的地	21.8% (379件)	1.4% (24件)	0.2% (4件)	0.3% (6件)	18.7% (325件)	1.1% (20件)
経由地	48.5% (845件)	4.8% (83件)	2.0% (34件)	5.8% (101件)	41.5% (722件)	8.8% (153件)
最終目的地 + 経由地	59.8% (1,041件)	6.1% (107件)	2.2% (38件)	6.1% (107件)	55.1% (959件)	9.9% (173件)

「函館」は、「函館中心部」と「湯の川」の回答を合わせて整理しているため、「経由地」と「最終目的地」の合計が「経由地及び最終目的地」の値と一致しない。

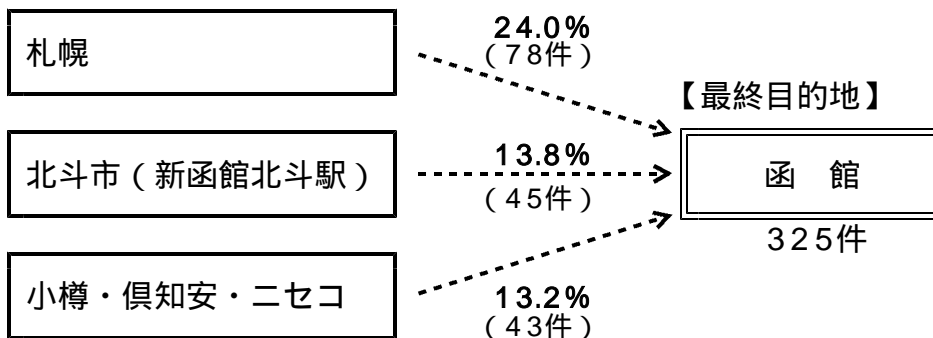
#### 新函館北斗駅から函館への移動手段 (道南エリアを最終目的地 + 経由地と回答)

n=1,041件

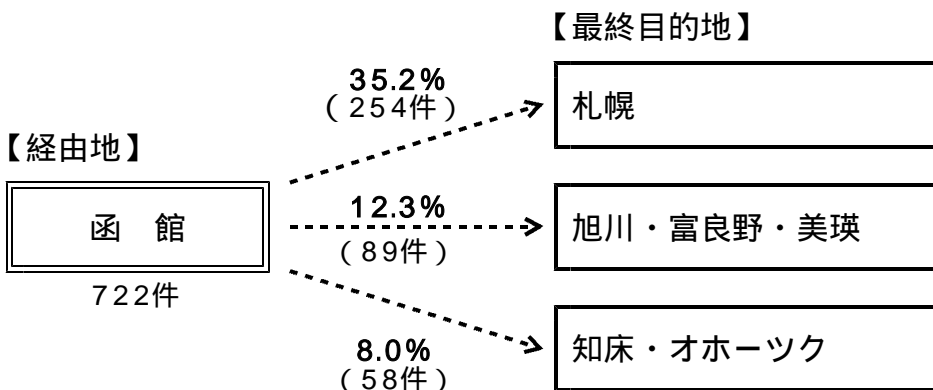
JR在来線	レンタカー	路線バス	観光バス	タクシー	自家用車	その他
53.5% (557件)	29.3% (305件)	5.7% (59件)	5.3% (55件)	4.9% (51件)	1.2% (13件)	0.1% (1件)

#### 函館を最終目的地とする場合の主な経由地

##### 【経由地】



#### 函館を経由地とする場合の主な最終目的地



(2) 道央エリア  
訪問意向

n=1,741件

	道央	支笏湖・洞爺湖・登別	小樽・倶知安・ニセコ	札幌
最終目的地	37.4% (652件)	2.9% (51件)	5.2% (91件)	29.3% (510件)
経由地	48.1% (838件)	15.8% (275件)	25.5% (444件)	28.6% (498件)
最終目的地 + 経由地	69.1% (1,203件)	18.7% (326件)	30.7% (535件)	57.9% (1,008件)

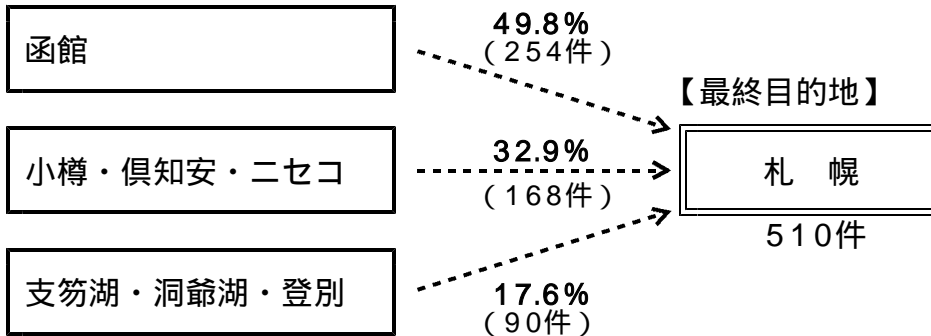
新函館北斗駅から道央方面への移動手段(道央エリアを最終目的地+経由地と回答)

n=1,203件

JR在来線	レンタカー	観光バス	路線バス	タクシー	自家用車	飛行機	その他
45.9% (552件)	40.2% (484件)	6.2% (74件)	3.2% (38件)	2.7% (33件)	0.7% (9件)	0.7% (8件)	0.4% (5件)

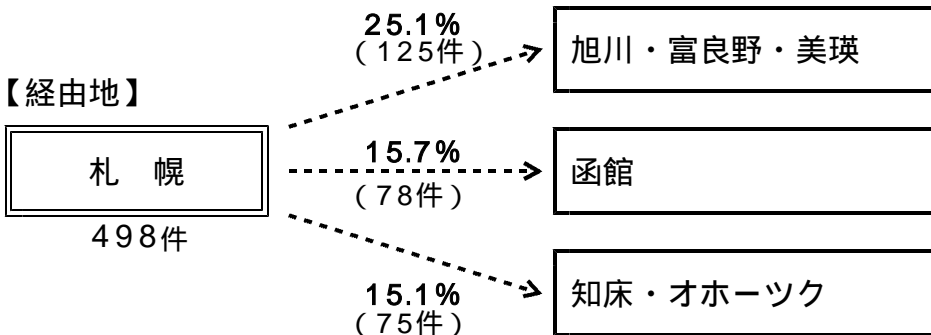
札幌を最終目的地とする場合の主な経由地

【経由地】



札幌を経由地とする場合の主な最終目的地

【最終目的地】



(3) 道東エリア  
訪問意向

n=1,741件

	道東	帯広・釧路・阿寒	知床・オホーツク
最終目的地	11.6% (202件)	3.1% (54件)	8.5% (148件)
経由地	13.8% (240件)	10.2% (177件)	8.0% (139件)
最終目的地 + 経由地	22.2% (386件)	13.3% (231件)	16.5% (287件)

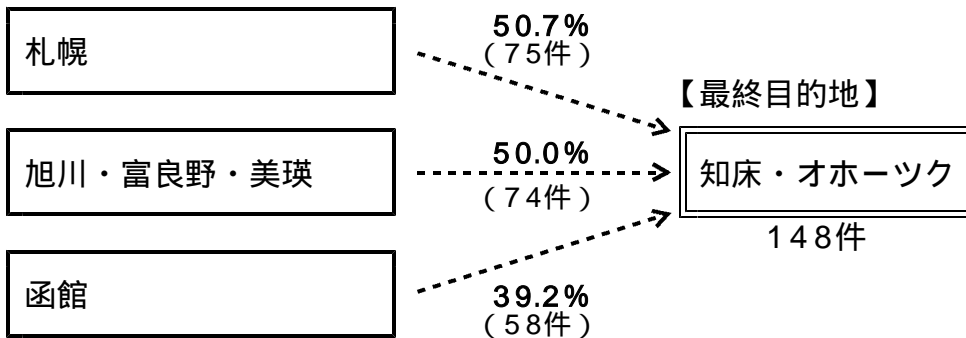
道央方面から道東方面への移動手手段（道東エリアを最終目的地 + 経由地と回答）

n=386件

バイク	JR在来線	観光バス	タクシー	路線バス	飛行機	自家用車	その他
51.3% (198件)	28.5% (110件)	9.8% (38件)	3.4% (13件)	2.6% (10件)	2.1% (8件)	1.8% (7件)	0.5% (2件)

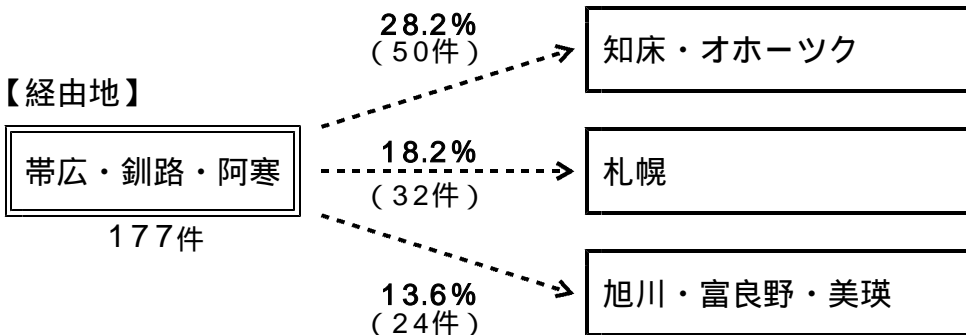
知床・オホーツクを最終目的地とする場合の主な経由地

【経由地】



帯広・釧路・阿寒を経由地とする場合の主な最終目的地

【最終目的地】



(4) 道北エリア  
訪問意向

n=1,741件

	道北	旭川・富良野 ・美瑛	稚内・利尻・ 礼文
最終目的地	17.6% (307件)	11.0% (192件)	6.6% (115件)
経由地	18.8% (327件)	16.4% (286件)	6.1% (106件)
最終目的地 + 経由地	33.1% (577件)	27.5% (478件)	12.7% (221件)

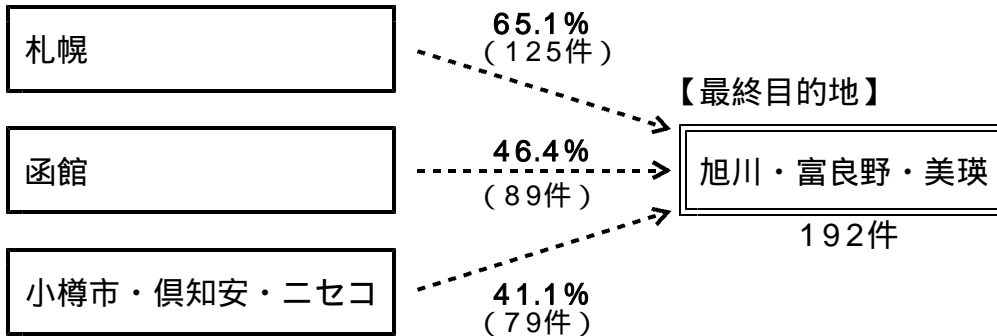
道央方面から道北方面への移動手段（道北エリアを最終目的地 + 経由地と回答）

n=577件

いなか-	JR在来線	観光バス	タクシー	路線バス	飛行機	自家用車	その他
53.0% (306件)	31.0% (179件)	8.8% (51件)	2.6% (15件)	2.1% (12件)	1.2% (7件)	0.7% (4件)	0.5% (3件)

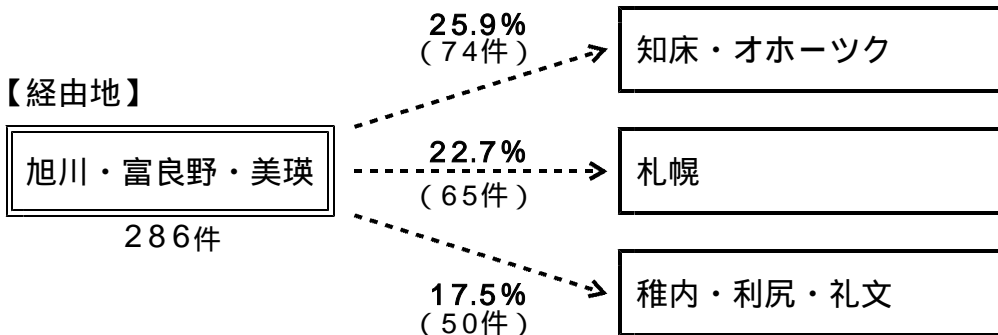
旭川・富良野・美瑛を最終目的地とする場合の主な経由地

【経由地】



旭川・富良野・美瑛を経由地とする場合の主な最終目的地

【最終目的地】



(5) 道外居住者の道東・道北への新幹線を利用した旅行商品の利用意向

アンケート調査において、道外居住者を対象として本州と北海道の間を新幹線及び飛行機により移動する旅行商品の利用可能性について取りまとめた。

利用意向

n=1,741件

旅行商品概要	利用意向
新幹線で来道し、飛行機で道内を移動し、飛行機で帰る商品	<b>76.0%</b> (1,323件)
飛行機で来道し、飛行機で道内を移動し、新幹線で帰る商品	<b>63.1%</b> (1,099件)
新幹線で来道し、飛行機以外で道内を移動し、飛行機で帰る商品	<b>79.0%</b> (1,375件)
飛行機で来道し、飛行機以外で道内を移動し、新幹線で帰る商品	<b>65.6%</b> (1,142件)

平均旅行日数及び平均旅行金額

平均旅行日数 約4日	平均旅行金額 約10万円
------------	--------------

6 道内居住者の新函館北斗駅への主な移動手段

アンケート調査における道内居住者の回答を基に、新函館北斗駅への主な移動手段について取りまとめた。

居住地	回答数	JR在来線	自家用車	路線バス	レンタカー	観光バス
道南	46	<b>41.3%</b> (19件)	<b>50.0%</b> (23件)	<b>6.5%</b> (3件)	<b>0.0%</b> (0件)	<b>2.2%</b> (1件)
道央	97	<b>53.6%</b> (52件)	<b>20.6%</b> (20件)	<b>6.2%</b> (6件)	<b>15.5%</b> (15件)	<b>2.1%</b> (2件)
道東	11	<b>72.7%</b> (8件)	<b>18.2%</b> (2件)	<b>0.0%</b> (0件)	<b>0.0%</b> (0件)	<b>9.1%</b> (1件)
道北	9	<b>33.3%</b> (3件)	<b>44.4%</b> (4件)	<b>0.0%</b> (0件)	<b>11.1%</b> (1件)	<b>11.1%</b> (1件)

「道南」は新函館北斗駅から函館方面への移動手段についての設問、「道央」「道東」「道北」は新函館北斗駅から道央方面への移動手段についての設問の回答による。

## 旅行代理店等ヒアリング調査

北海道新幹線開業後の二次交通の利用意向等に係るインターネット調査に合わせ、外国人旅行者の動向等について、道内の旅行代理店2社にヒアリング調査を実施した。

### 【調査結果の主なもの】

外国人旅行者の新幹線自体に対する関心は高いといわれているが、このように北海道新幹線の認知度が極めて低いため、関心が高まるところまでには至っていない。

道やJR北海道のホームページを見ても、英語はもとより中国語や韓国語等の外国語対応もほとんど行われていないため、情報を入手することが困難である。

注) 道のホームページに係る新幹線情報

- ・北海道新幹線英語ページ「About Hokkaido Shinkansen」
  - ・国際課作成の「赤れんが通信」における英語・中国語(簡体字)・韓国語による北海道新幹線特集(平成26年11月号)
- JR北海道のホームページでは、新幹線情報の外国語表記はない。

開業後の動向は、認知度向上が「カギ」であり、現状での判断は困難であるが、東海道新幹線は多数の外国人旅行者が利用していることを勘案すると、旅行商品次第となるが、合理的な移動手段として取り込まれるニーズは高いと思われる。

中国や台湾、香港等の外国人旅行者は、滞在型よりは「移動型」旅行に人気があるため、効率よく観光地を周遊できることが重要で、関東等から北海道入りする際には飛行機利用が多い。

### 【開業後の外国人旅行者への対応】

アジア成長市場向けに新幹線の情報発信を

飛行機と比較した場合の新幹線利用のメリットの明示を

レールパスを活用した「道内入りは新幹線・帰りは飛行機」等の組合せによる旅行プランの提示を

二次交通への乗り継ぎにあたり、案内等の多言語表記の対応を など